



学校だより

伸びゆく子

令和8年2月27日
横浜市立中沢小学校
3月号

旅立ちの春に

学校長 川又美貴子

春の訪れを感じさせる明るい、温かな日差しに包まれる日が増えてきました。先日は、今年度最後の授業参観・懇談会にご参加くださり、ありがとうございました。発表形式の授業もあれば、道徳や算数などの座ってじっくり考えて取り組む授業もあり、それぞれの子どもたちの学びの姿を見ていただけたのではないかと思います。

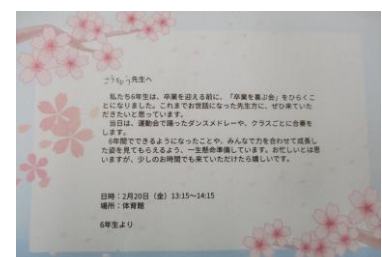
参観日初日の給食片付けの時間に、校長室から廊下へひょいっと顔を出したところ、下膳に来ていた1年生の給食当番の子どもたちが、「ニコニコ大作戦を発表するんだ。」「どきどきする。」と教えてくれました。授業が始まる前からちゃんと次にやることを意識して、発表する自分の姿をイメージしているのだと思うと、小学校に入って一年間、色々なことを学び、一人ひとりが成長してきたのだと改めて感じました。

6年生は「卒業を喜ぶ会」として、実行委員の子どもたちが中心となって計画を立て、今年は「小学校6年間の運動会ダンスメドレー」とクラスごとの合奏を体育館で発表しました。前半のダンスでは、あちらを見てもこちらを見ても笑顔、笑顔、笑顔。「こんなに楽しそうに踊っているなんて、なんて素敵なのだろう。ああ、小学校生活楽しかったんだな。」と、その温かな雰囲気涙せずにはいられませんでした。

後半の合奏は、休符の所でピタッと演奏が止まったり、強弱の呼吸が揃ってそれぞれの楽器の音色が響いたり、本当に6年生の底力の感じられる素晴らしい演奏でした。

今年の6年生は、入学した時がまさにコロナの影響が最大限に社会を包み、入学式後2カ月間の休校でスタートした学年です。本来であれば、向き合って、寄り添って、たくさん関わり合って、人間関係を育みながら小学校生活をスタートできたはずが、前を向き、口を閉じ、距離をとって生活せざるを得ませんでした。誰が悪いわけでもありませんが、もっともっと、低学年のうちにいろんな経験をさせてあげたかったと、事あるごとに感じていました。でも、その心配は不要だったかもしれません。この6年生たちは、自分たちが出会った環境の中で、精いっぱい努力し、感じ取り、たくさんの力を育んできていました。この卒業前の発表で、そのことをしっかり証明してくれました。

進級、進学それぞれの旅立ちの春に、社会の影響を受けながらも明るく、たくましく育つ中沢の子どもたちを、改めて誇りに思います。本年度も、本校の教育活動に多大なるご理解、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。



6年生からもらった「卒業を喜ぶ会」招待状